

【資料14-1】 第5次総合計画前期基本計画の振り返りについて

資料14-1

取組名		10年後に目指したい将来像	振り返りの総括
5	地域ぐるみの子育て	三田の文化、自然、人材等の豊かな資源を活かすとともに、行政・学校、家庭、地域、各種団体等の連携により、地域で子どもたちが安心して過ごせる環境が整い、子どもたちが地域に愛着を持ち、将来の夢と希望を胸に抱き健やかに成長しています。子どもたちの権利が守られるとともに社会参加・意見表明の機会が確保され、豊かな人間性を育みながら自立した社会の一員へと育てています。	前期計画期間では、コミュニティ・スクールや学校支援ボランティアの推進、こうみん未来塾の拡充に加え、子ども食堂や放課後子ども教室、児童クラブ等の多様な居場所づくりに注力してきた。成果指標では、学校支援ボランティアの活動日数やトライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合は目標値を上回る実績を上げた一方で、こうみん未来塾探究コースの修了者数や放課後子ども教室の開催日数については、当初想定していた実施体制の構築に至らなかったことや地域の実情に対して、目標値の設定が高い水準にあったといえる。しかしながら、市民意識調査における満足度は25項目中7位と上位に位置しており、施策全体としては市民から一定の評価を得ている。後期計画では、学校・家庭・地域が互いのニーズを調整しながら一層緊密に連携し、地域全体で子どもたちの成長を支える持続可能な環境づくりに引き続き取り組む。

市民意識調査の結果		指標等の進捗状況						
重要度	3.97	指標名	基準値(R2)	方向性	R4	R5	R6	目標R8
重要度平均からの偏差	-0.01	1 学校支援ボランティアの活動日数	2,608日	↑	4,414日	4,984日	5,175日	4,350日
重要度順位	14/25位	2 トライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合	91.7% (R元)	↑	96.2%	97.2%	96.2%	95.0%
満足度	3.13	3 こうみん未来塾探究コースの小中学生の修了者数	-	↑	45人	36人	30人	200人
満足度平均からの偏差	0.05	4 放課後子ども教室の開催日数	1,042日	↑	1,355日	1,377日	1,401日	2,040日
満足度順位	7/25位							

「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

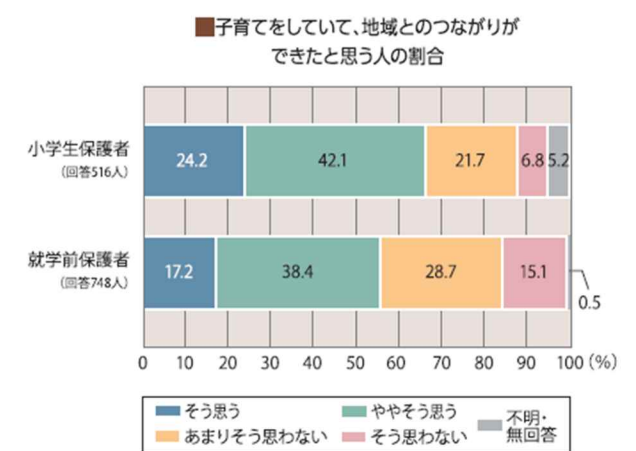


5 地域ぐるみの子育て

1. 10年後に目指したい将来像

三田の文化、自然、人材等の豊かな資源を活かすとともに、行政・学校、家庭、地域、各種団体等の連携により、地域で子どもたちが安心して過ごせる環境が整い、子どもたちが地域に愛着を持ち、将来の夢と希望を胸に抱き健やかに成長しています。子どもたちの権利が守られるとともに社会参加・意見表明の機会が確保され、豊かな人間性を育みながら自立した社会の一員へと育てています。

2. 10年後に心配される三田の状況		3. 10年後に目指したい三田の状況		取り組み
A	子どもの多様な学びや体験の機会が縮小していること	→	トライやる・ウィーク [※] やこうみん未来塾 [※] 等、多様な学びと経験により子どもたちの未来の可能性が大きく広がっていること	① ②
B	地域での家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化により、学校、家庭、地域の支え合いやつながりが希薄化していること	→	学校、家庭、地域が対話を重ねながら一体となり、地域全体で子どもたちの成長を支えていること	① ③ ④
C	地域の中で子どもが安心して過ごせる居場所が減少していること	→	子どもたちが地域で世代間交流を図りながら安心して過ごしていること	③ ④
D	不審者事案の多発や、SNSをはじめとするコミュニケーションツールに起因するトラブルに子どもたちが巻き込まれていること	→	地域ぐるみの取り組みや啓発等により、地域で子どもたちが安心して過ごしていること。また、SNS等のインターネットを安全かつ適切に利用していること	④



※トライやる・ウィーク
兵庫県が県内の中学2年生を対象に、地域や自然の中で、生徒の主体性を尊重した様々な体験活動を通して、豊かな感性や創造性等「生きる力」の育成を図る取り組みをいう。また、その取り組みを通じて、学校・家庭・地域社会の連携を深め、子どもたちを中心とした地域コミュニティ構築へと発展することを期待するもの。

※こうみん未来塾 43ページ参照

※地域学校協働活動
地域の高齢者、PTA、団体等の幅広い参画により、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動をいう。

※放課後児童クラブ
保護者の就労、疾病その他の理由により、放課後に家庭や地域社会等において適切な保護を受けることができない小学校の児童に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的とした事業をいう。

※放課後子ども教室
放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、学習活動や文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みを実施することにより、子どもたちの豊かな人間性を育み、地域の子どもたちと大人の参画・交流による地域コミュニティの充実を図る事業をいう。

「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～

【5】地域ぐるみの子育て ★人口減少対策★

1 10年後に目指したい将来像

三田の文化、自然、人材等の豊かな資源を活かすとともに、行政・学校、家庭、地域、各種団体等の連携により、地域でこどもたちが安心して過ごせる環境が整い、こどもたちが地域に愛着を持ち、将来の夢と希望を胸に抱き健やかに成長しています。こどもたちの権利が守られるとともに社会参加・意見表明の機会が確保され、豊かな人間性を育みながら自立した社会の一員へと育てています。

2 10年後に心配される三田の状況		3 10年後に目指したい三田の状況		取り組み
A	こどもの多様な学びや体験の機会が縮小していること	→	トライやるウィークやこうみん未来塾等、多様な学びと経験によりこどもたちの未来の可能性が大きく広がっていること	①②
B	地域での家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化により、学校、家庭、地域の支え合いやつながりが希薄化していること	→	学校、家庭、地域が対話を重ねながら一体となり、地域全体でこどもたちの成長を支えていること	①③④
C	地域の中でこどもが安心して過ごせる居場所が減少していること	→	こどもたちが地域で世代間交流を図りながら安心して過ごしていること	③④
D	不審者事案の多発や、SNSをはじめとするコミュニケーションツールに起因するトラブルにこどもたちが巻き込まれていること	→	地域ぐるみの取り組みや啓発等により、地域でこどもたちが安心して過ごしていること。また、SNS等のインターネットを安全かつ適切に利用していること	④

4. 取り組み

▶ 市民

- ◆地域の子どもと子育て家庭に関心を持ち、地域における子育て支援活動に積極的に参加し、自らも楽しみながら子どもたちの成長と学びを応援します。
- ◆体験活動や学校行事等、学校の教育活動に関心をもって、家庭や学校と協働して地域で子どもを育てていきます。

▶ 事業者・団体等

- ◆安全・安心な居場所づくりと共に、デジタル技術の活用等、事業者や団体がもつノウハウを活かして子どもたちの新たな学びと体験の場を創出します。
- ◆地域の特色を活かし、子どもたちの健やかな成長を応援するため、学校と地域の連携に向け協力します。
- ◆専門性やノウハウを生かし、子どもの学びや育成を支援します。
- ◆「トライやる・ウィーク」など生徒の体験活動に協力し、学校や家庭と協働して子どもを育てていきます。

▶ 市

① 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

学校・家庭・地域が、コミュニティスクール・地域学校協働活動※・学校支援ボランティア等について理解と連携を深め、子どもたちの成長を支援できる体制づくりを進めます。地域と学校の協働により、学校教育とこうみん未来塾の連携を図るとともに、高校生が支援者として参画するなど、学びや活動の循環を創出します。

② 科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概をもつ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成

本市の豊かな自然環境・教育資源・地域資源とデジタル技術を活かし、子どもたちが本物に触れる機会を持てる「こうみんプログラム」等を通して、子どもたちの探究心を刺激する体系的で連続した学びを創出し、感性や好奇心、創造力を育み、新しい発想をもって活躍できる力を育成します。

③ 地域における子どもの居場所づくり

放課後児童クラブ※、放課後子ども教室※、子ども食堂が、安全で安定した子どもの居場所となるよう取り組みます。子ども教室及び子ども食堂については、学校・家庭以外の第三の子どもの居場所、子ども同士の交流や遊び、多世代交流の場となるよう支援し、地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を支える取り組みを進めます。

④ 子どもたちが安心して過ごせる地域づくりの推進

学校・家庭・地域・青少年健全育成関係団体等が連携し、地域全体での見守り活動や声掛け等により、子どもたちが健やかに成長し、安心して過ごせる地域づくりを進めます。デジタル技術が急速に進展する社会において、子どもたちが安全にかつ適切にインターネットを利用できるよう啓発を進めます。

4 取り組み

市民

- ◆地域の子どもと子育て家庭に関心を持ち、自身の特技や経験等を活かしながら、自らの生きがいや学び合いの場として、地域における子育て支援活動や居場所づくりに参加します。
- ◆中高生や大学生などの若者も、地域の子どもを支える多様な担い手の一員として活動に参画し、世代間の交流を通じて自らも成長していきます。
- ◆体験活動や学校行事等、学校の教育活動に関心をもって、家庭や学校と協働して地域で子どもを育てていきます。

事業者・団体等

- ◆安全・安心な居場所づくりとともに、デジタル技術の活用等、事業者や団体がもつノウハウを活かして子どもたちの新たな学びと体験の場を創出します。
- ◆地域の特色を活かし、子どもたちの成長を応援するため、学校と地域の連携に向け協力するとともに、人材育成や地域貢献の一環として、社員等が地域活動に参画しやすい環境づくりに努めます。
- ◆「トライやる・ウィーク」など生徒の体験活動に協力し、学校や家庭と協働して子どもを育てていきます。

市

① 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

学校・家庭・地域が相互の理解を深め、円滑に連携できるよう、コミュニティスクールや地域学校協働活動、学校支援ボランティア等におけるコーディネート機能を充実させ、誰もが主体的に関われる体制づくりを進めます。こうみん未来塾への多様な主体の参画を促進するとともに、学校教育との連携を密にし、地域全体で子どもの学びを豊かにする活動を広げます。

② 科学技術に親しみを感じる子、グローバルに活躍する気概をもつ子、チャレンジ精神旺盛な子の育成

本市の豊かな教育資源を活かして、子どもたちが本物の科学や技術に触れる「こうみんプログラム」の質の向上を図ります。産学公民の多様な主体と連携して子どもたちの知的好奇心を刺激し、主体的な探究活動を通じて未来の社会を牽引する理系人材の裾野を地域全体で広げていきます。

③ 地域における子どもの居場所づくり

放課後児童クラブ、放課後子ども教室、子ども食堂等が、安全・安心な、地域での子どもの居場所となるよう取り組みます。児童クラブは多様なニーズへの対応を、子ども教室や子ども食堂等は活動内容の充実に加え、活動を持続可能にするための環境づくりを進めます。また、これらの多様な居場所の担い手が相互に連携し、子どもたちにとって地域ぐるみのセーフティネットとしての機能を構築します。

④ 子どもたちが安心して過ごせる地域づくりの推進

地域全体での見守り活動等により、子どもたちが安心して健やかに成長できる環境づくりを進めます。インターネット上のトラブルが多様化・深刻化する状況に対応するため、従来の危険回避に加えて、子どもたちが自ら情報を判断し、責任をもって行動する力を育むことにつながるよう啓発を進めます。

◆ 評価指標

指標名	現状値 (基準年)	目標値 (R13)
KGI 施策重要度・満足度(市民意識調査)	重要度 3.97pt 満足度 3.13pt	↑
KPI トライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合	89.3% (R7)	95.0%
KPI こうみん未来塾(全市版)に参加して「とても面白かった」と答えた子どもの割合	71.3% (R6)	80.0%
KPI 放課後子ども教室の開催日数	1,401日 (R6)	1,460日
KPI 地域における子どもの居場所のうち、子ども食堂の数	11か所 (R6)	17か所

◆ 主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市青少年問題協議会条例、三田市良好な居住環境等及び青少年の健全な環境の保全に関する条例、三田市放課後児童クラブ条例、三田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
関連計画	三田市子ども計画、三田市教育大綱、三田市教育振興基本計画、三田市地域福祉計画

5. 成果指標等

指標名	基準値	基準年	目標値 (R8)
学校支援ボランティアの活動日数	2,608日	(R2)	4,350日
トライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合	91.7%	(R元)	95.0%
こうみん未来塾探究コースの小中学生の修了者数	—	—	200人
放課後子ども教室の開催日数	1,042日	(R2)	2,040日

■ 主要な条例・規則及び関連計画

条例・規則	三田市青少年問題協議会条例、三田市良好な居住環境等及び青少年の健全な環境の保全に関する条例、三田市放課後児童クラブ条例、三田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
関連計画	三田市子ども・子育て支援事業計画、三田市教育大綱、三田市教育振興基本計画、三田市地域福祉計画、三田市子どもの貧困対策計画

最上位指標

市民の幸せ実感度の向上

	KGI (成果指標)	KPI (活動指標・取組指標)		現状値	目標値	指標の設定理由	所管課
5 地域ぐるみの子育て	・施策重要度 ・施策満足度	-	新規	重要度 3.97pt 満足度 3.13pt	向上	全施策固定指標	
		トライやる・ウィークに「来年度以降も協力したい」という事業所の割合	継続	R7:89.3%	95.0%	トライやる・ウィークでは、地域が一体となって子どもを育てていこうとする機運を向上させていく必要がある。本指標である事業所の「継続参加意向の高さ」は、トライやる・ウィークと地域の子どもの育成に主体的に関わろうとする意思の表れであり、地域ぐるみで子どもを育てる機運が実際に機能していることを示す。	学校教育課
		こうみん未来塾(全市版)に参加して「とても面白かった」と答えた子どもの割合	新規	R6:71.3%	R13:80.0%	こうみん未来塾は、本物の科学や技術に触れることで、子どもの探究心と好奇心を刺激する事業である。開始から10年を経て、提供する学びは新たな段階を迎えている。参加機会の創出にとどまらず、深い感動と知的好奇心を喚起する質の高い体験へと転換を図る。子どもたちの満足度を指標化することで、一人ひとりの主体的な学びと成長を確実に促し、未来を切り拓く力を育むことを目指すものである。	子ども育成課
		放課後子ども教室の開催日数	継続	R6 : 1,401日	R13:1,460日	放課後子ども教室は、地域の参画を得て、子どもたちに多様な学びや体験の機会を提供する事業であり、子どもが地域社会と関わり、豊かな人間性を育む場として機能している。持続的な活動を通じて安定した居場所を確保し続けることが、子どもの安心感と成長に直結する。地域の実情に応じた持続可能な開催日数を担保することで、子どもの安全な居場所の確保を図るものである。	子ども育成課
		地域における子どもの居場所のうち、子ども食堂の数	新規	R6:11か所	R13:17か所	子ども食堂は、子どもの孤食防止や、様々な世代とのつながりを育む居場所として重要な役割を担っており、地域における子どもの居場所がどの程度確保されているかを把握するための基盤的指標として位置づける。子ども食堂ごとに活動内容・開催頻度等は異なり、数の増加は、子どもにとっての選択肢の増加にもつながる。	子ども政策課